

なかよし広場の入れ替え制について

○全玲華、藤岡隆二、齋藤愛子
(横浜市立野毛山動物園)

当園では、ふれあい施設であるなかよし広場にて、常時テンジクネズミ、ハツカネズミ、ニワトリ、不定期でアオダイショウのふれあいを行っている。平成26年度より土日祝日は利用者の入れ替え制を実施している。従来は9:45～11:45、12:15～14:15、14:45～16:15の間であれば、利用者は自由にふれあいを行うことができたが、混雑緩和や、人と動物双方の安全確保、動物管理、正しいふれあい方の指導を目的に入れ替え制を導入した。

平成26年4月19、20日に試験的に実施した後、同年5月から入れ替え制の導入を開始した。一日に午前の部6回、午後の部6回の計12回の実施とし、各回定員を来園者数に応じて150～200名と変動させ、20分ごとに利用者を入れ替えることとした。また、施設に入場する前には、集合場所にて5分ほどふれあい方法の説明を職員が動物を用いて行った。入れ替え制の必要人員は、最低でも7人、混雑状況によっては応援を含めて10人が必要になる。入れ替え制の方法としては、時間指定した整理券による入れ替え制と、先着順の入れ替え制、二つの方法を試したが、利用者の負担等を考慮した結果、整理券による入れ替え制のみを現在実施している。

入れ替え制を実施することで入場制限を設けられ、施設内の混雑緩和につながった。職員の目が届きやすくなることで、人と動物間の事故も格段に減った。動物管理も、混雑時でも必ず入れ替え時に展示台に戻すことで、健康チェックがしやすくなった。その反面、自由入退場時に比べて、多くの動物や人員が必要になるため、開場時間を短くせざるをえないことや、混雑時は数時間先の回の案内となるため、長時間待つことが難しい利用者は利用できない。また、屋根が一部にしかないため、雨天時は入れ替え制を行えないことや、入口にスロープがなく、階段からの入場が難しい利用者の負担となってしまう等の施設の構造上の問題もあがった。

今後は、問題点の解決や、利用者の要望を把握するためのアンケートを実施し、より良いシステムへと改善していく。